

# 専門文書に強いAI

## シミュラティオ システム開発

シミュラティオ（横浜市港北区、近野利信社長、045・264・9588）は、法律や技術文書など専門的な文書データに強い人工知能（AI）を使ったシステム「LAND（ランド）」を開発した。文書の内容を深い意味で理解し、文書の内容について日常会話のような自然言語で質問されても的確に返答する。2017年度から本格的に提供を開始し、21年度に20億円の売り上げを目指す。

### 論理的 理解可能 幅広い業種に対応

製造業や金融機関などの法律を扱う業務や省庁向けの書類作成を行う業務に向く。ユーザーセンター業務での専門的な内容をすぐに探

して返答するといった展開もしたいという。独自のAIにより、ケースにも適しており、業務支援ツールとして幅広い業種へ提供可能で19年度には海外

文章を論理プログラムとして理解し、質問は依存構造を介して理解する。一階述語論理と

呼ばれる言語的な深い意味理解が可能で、「ポールの妻がマリー」、「マリーの子どもがトム」といった関係性の構造を理解する。「サンタクロースは赤い服を着てプレゼントを配る」と「サンタは実在しない」といった文章の内容に矛盾があっても「サンタとは？」という質問に返答できる。一般的なツールは矛盾のある文章の理解が難しい。

一般的なデータマイニングツールはキーワードを抽出するものが多く、論理的な意味理解が不得手だという。現状はデータ入力の手作業でランドに入力する必要があり、時間と手間がかかることが多く、論理的な意味理解が不得手だという。分ほどかかるため、入力の自動化とスピードアップに取り組む。